

第161回山行記 荒船山 (1423m)

今回は新入会員の Y さんや体験山行の F さんも加わって、総勢 17 名で荒船山を目指します。

また、緊急事態宣言の解除や最近のコロナ感染者数の減少傾向から「バス座席の 1 人 2 席使用」は止めることとしたが、車中でのマスク着用や会話・飲酒の制限などのコロナ感染防止対策は引き続きお願いしての山行となりました。



【荒波を割って進む船、日本二百名山】

【 荒船山へのアクセス 】

<往路> 谷津船橋 IC (5:50) ~ 外環道 ~ 関越道 (休憩; 三芳 PA 7:10 ~ 7:30) ~ 上信越道 ~ 下仁田 IC (8:35) ~ 国道 254 号 (トイレ休憩; 道の駅下仁田 8:40 ~ 8:50) ~ 内山峠登山口駐車場 (9:25)

<復路> 荒船不動尊駐車場直下の道路脇 (14:50) ~ 国道 254 号 (休憩; 下仁田こんにやく観光センター 15:25 ~ 15:50) ~ 下仁田 IC (16:15) ~ 上信越・関越道 (休憩; 三芳 PA 17:40 ~ 18:00) ~ 外環道 ~ 谷津船橋 IC (19:20)

荒船山の天気は風もなく穏やかな晴天に恵まれるとのこと。絶好の登山日和に先ずは一安心!



17 名を乗せたマイクロバスは一路群馬県荒船山を目指し高速道路を北上し、途中の渋滞により 20 分遅れで下仁田 IC を降りる。ここからは国道 254 号線を西に進み長野県との県境にある内山峠へと向かう。

国道 254 号線は起点を東京都文京区、長野県松本市を終点とするが、五街道に準ずる脇往還として江戸時代に宿駅整備された道である。大名などが利用する五街道とは違い役人や女性が多く利用していたことから、下仁田あたりでは「姫街道」と呼ばれていた。

始めのうちはのどかな田舎風景で、旬を迎えた下仁田ネギの畑が目立つ道を走る。「ずいぶん遠いんだなあ」と思っていると、しばらくしてカーブが多くなり山道へと変化する。少々心細くなってきた頃ようやく内山峠への分岐を通過、マイクロバスがやっと通れるほどの狭い道。くねくねと曲がりながら進むと、先着の車でいっぱいになった駐車場が目の前に現れた。

なるほど 荒船山は人気の山らしい!

【 内山峠 ~ 臙岩展望台 (1334m) 】

S さん指導で恒例の準備体操をし、いざ出発 (9:40)。

初級者でも登れる山とはいえ、ところどころにやせ尾根もあるらしい、崖から足を踏み外さないよう細心の注意で進む。

一か所短い梯子があったものの、なだらかなアップダウンの道を 30 分ほど歩いたところで衣服調節と靴ひも確認、水分補給のための休憩 (10:05)。

再出発してまもなく、前方左手に臙岩の甲板が先ほどよりも低く見えている。私たちが高度を稼いだことがわかって、ちょっとうれしい。

噴煙をわずかにあげる浅間山の姿も美しく、今日の晴天に感謝。



出発から 50 分ほどで臙岩修験道場跡に到着 (10:30)、5 分間の休憩を取る。

いくつもの礎石が残っていて修行に励んだ古の僧たちが偲ばれる。しばらくして一杯水に着いた(11:05)が、水も少なく足場も悪そうなので水を汲む気にはなれない。一杯水を過ぎるといよいよ本格的な上りになるはずだ。後続の登山者に追い越してもらって水分などを摂り、気持ちを新たに出発。すぐに急傾斜となり緊張したが幸い滑る石ではなさそうだ。ゆっくりと慎重に通過して全員が台地にたどり着け、ほっとしてしばしの休息。

平坦になった道を進むとすぐ、「のぞくな危険」の看板が見えて、かの有名な臙岩に到着(11:35)。

遠くから眺めて一度は登りたいと思っていた臙岩、
ようやく立つことができた。

空腹の具合もちょうどよい時間だが、臙岩からの景色を楽しむのが先で、すぐにはお弁当を広げる気にはなれない。

遠くに木曾御嶽山、その北に連なる雪の峰は北アルプスとYさんに教えていただいた。白雲と重なって槍・穂高の判別が叶わないのがやや残念だが、贅沢を言うのはやめておこう。

【 臙岩～径塚山(1423m) 】

ゆっくりと昼食休憩を楽しみたいところだがまだ先が長いので、記念写真を撮ってから頂上を目指して出発(12:15)した。

木々の葉はすっかり落ちており、すぐそこまで冬が来ていることを感じる。風もなく気持ちのよい陽射しに温められながらのんびりと進んだ。途中石碑があったり祠が祀ってあり、歴史を感じさせる山である。

荒船山には数々の神話や民話が伝わっており、その一つを紹介すると、「上野国一宮の抜鉾大明神(姫神)は敵に襲われ南天竺から天甲船に乗って逃れてきて、船を山の峰にうつ伏せにしてその上に住んでいた。一方諏訪神社の神である諏訪明神は、母神が住む日光へよく行ったり来たりしているうち、途中にある笹岡山(現在の荒船山)に住む絶世の美女の姫神と顔見知りになり夫婦となった」(日本百霊山；ヤマケイ新書)というのである。

ワイワイとしゃべりながら歩くうち、いつの間にか山頂への分岐に着いた(12:50)。ここからは短い距離だが急坂になるので一旦休憩しリュックを置いて山頂へ行くことに。



径塚山でハイチーズ！

会長のYさんが「1個千円でリュックを預かって、ここで留守番をしている。」と言うので、みんなで大笑い。

果たして急登であったが、あっという間に径塚山に到着した(13:00)。

荒船山のハイライトはやはり臙岩である。展望は臙岩で堪能したので、狭い頂上でさっさと集合写真を撮り下山。

【径塚山～荒船不動尊】

滑らないよう注意しながらゆっくりと先ほどの分岐を星尾峠方向に進む。しばらくして荒船不動尊への道が分かれていた(13:45)。

道はよく整備されているとのことだったが、季節がら沢山の落ち葉で足元はすっかり隠されている。近年の大雨や台風のせいか倒木なども所々にあった。ゆっくりと下り一度休憩を取る。



途中二人連れの登山者と行き合わせ、マイクロバスからの伝言をいただいた。道が狭くカーブがきついで不動尊の駐車場に乗り入れができず、百メートルほど下った所で待っているとのこと。

そうこうするうちによりやくゴールの荒船不動尊に着いた(14:30)。

全員無事に下山できてこれ以上の喜びはない、時間に余裕もあるのでお詣りしていこう。

ここの不動尊像は京都の東寺、成田山新勝寺の不動尊と同じ木から、弘法大師が彫ったと言われている。境内にあるトイレをお借りすることに。

駐車場から下っていくと、かわいいマイクロバスが待っていてくれた。クールダウンの体操をして出発(14:50)。行きの時より紅葉が目鮮やかに映るのは、やはり朝は緊張していたせいだろうか。



巖も一層雄大にそそり立ち、車内から歓声が上がった。

今回は入浴がないので途中下仁田こんにゃく観光センターに立寄り買物や腹ごしらえでひと息入れ、習志野に向かって発車(15:50)。

関越道は工事による渋滞でなかなか進まなかったが、

疲れて眠る人が多いのか、とても静かな車中だった。

みなさん たいへんお疲れさまでした

ご協力に感謝します

また来月 元気に登りましょう!!

2021.11.15 M.S 記